

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス そらのわ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月26日		令和8年 2月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月26日		令和8年 2月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	急速支援体制への応援が必要となった際、同法人内の別事業所である、重度訪問介護・居宅介護事業所と連携できること。	双方の事業所間の行き来が自由にでき、職員間の意思疎通が円滑であるよう努めています。	適宜両事業所の管理職において相互の業務状況、月次計画、課題等について共有及び情報交換を行った後、各事業所の職員会議等でスタッフと共有及び協議を行っています。
2	運動スペースが確保され、子どもたちが自由に体を動かすことができる環境であること。	体を動かすことが好きな子どもたちが楽しく過ごせる「生き場(行き場)」であるよう、怪我・その他トラブル等の発生に留意しています。	ピアノ、電子オルガン、打楽器等の器材の他、ボールやラケット等により楽しく過ごせる空間づくりに努めています。
3	法人を上げて季節ごとの行事を企画し、子どもたちはもちろん地域の方々へも参加を働きかけ、交流の機会を設けていること。	行事のマンネリ化にならないよう、アンケート結果や過去の反省に立ち、新たな取り組みも取り入れるよう努めています。	行事等の周知等には、事業所や関連機関へのポスター等の張り出し、ホームページへの掲載の他、地域の皆さんが集まる集会等でのPRを行っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置数が必ずしも十分といえる状況でないこと。	<ul style="list-style-type: none"> PR不足 仕事自体が敬遠傾向にある 他の職種と比較し、雇用条件で対抗できない 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所や仕事を理解していただくため、行事等を通してPRを継続していく。 ハローワーク、各学校等の他、人脈等を通じて広く求人を展開していく。 サービスを継続していただける状況を維持継続し、評価いただける雇用条件を示せるよう経済面の強化に努める。
2	送迎サービスを希望する全ての利用者に対応できていないこと。	<ul style="list-style-type: none"> 職員不足 送迎車両が確保できない 	<ul style="list-style-type: none"> 職員不足については上記のとおり。 新規で車両を確保するための費用面での支援を得るため、各助成機関への申請を行っています。 資金確保のためには、順調な事業運営が必要であり、安定した財政基盤の構築が必須である。
3	設備や備品が幼児用サイズとなっている部分があり、使い勝手が悪いところがあること。	市より借り上げている元幼稚園だった物件の再利用	<ul style="list-style-type: none"> 物件の部分的改修については、市に申請が必要である。 資金確保については上記のとおり。